| 学校番号 | ２０６ |
|---|---|

# 令和８年度　家庭科

| 教科 | 家庭 | 科目 | ライフデザイン | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう。
〇２年次全員必修履修の家庭基礎を経て、生活をよりよくするための学びを深めましょう。
・これからの人生設計や衣食住、保育、消費者問題などについて、実践的・体験的な学習を通して、確かな技術を身に付けます。
・実習内容の授業が多く、授業の出席が大切になります。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
２年次の家庭基礎で学んだ基礎知識・技術を授業での活動で発揮できる。
より高度の知識習得、技術向上ができる。
【思考力、判断力、表現力等】
作品づくりや調理実習、保育実習を通して、多種多様な思考力や判断力を身に着けることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
作品づくりや調理実習、保育実習を通して、人との関わりや協同することの大切さが理解できる。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 家庭基礎で学んだ被服製作技術及び、調理技術をはじめ、住生活、保育の学習から得た知識をもとに、より発展的な技術向上、知識の習得をする。 | ２年次で学んだ基礎的な技術をもとに、自身の表現を示す作品を製作する。地域でかかわる保育活動についても考え、行動することができる。 | 実生活に近い衣食住を中心に、実習活動を取り入れ、ものづくりのたのしさ、協同することの大切さを学ぶ。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 生活設計 | ・18 歳成人<br>・一人暮らしシミュレーション | a: 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解するとともに、青年期の課題である自立や男女の平等と協力、意思決定の重要性について理解を深め、身に付けている。<br>b: 青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。<br>c: 青年期の生き方について関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 | レポート<br>小テスト | レポート | 授業観察 |
| | 調理実習 | ・西洋料理<br>・身近なお菓子作り | a:調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。<br>b:食生活の現状から調理に関する課題を発見し、調理を通して合理的かつ創造的に解決する力を養い、表現している。<br>c:調理の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 | 授業観察<br>実習レポート | 授業観察<br>実習レポート | 授業観察 |
| 2学期 | 調理実習 | ・和食<br>・行事食<br>・西洋料理 | a:調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。<br>b:食生活の現状から調理に関する課題を発見し、調理を通して合理的かつ創造的に解決する力を養い、表現している。<br>c:調理の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 | 授業観察<br>実習レポート | 授業観察<br>実習レポート | 授業観察 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 被服実習 | ・巾着づくり(刺繍)<br>・保育　布絵本作成 | a:被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。<br>b:　自身の思い描くデザインを自分の知っている技術を使って表現している。<br>c:被服製作やデザインに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を養い主体的に学習に取り組もうとしている。 | 作品 | 作品<br>授業観察 | 作品<br>授業観察 |
| | 保育実習 | ・保育園交流 | a:乳幼児期の心身の発達と生活、子どもの遊びと文化、保育について理解を深め、子どもの発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けている。<br>b:保育の重要性について考え、子どもの健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察し、表現している。<br>c:子どもとの適切な関わり方を工夫し、主体的に学習に取り組もうとしている。被服製作やデザインに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を養い主体的に学習に取り組もうとしている。 | 実習レポート | 実習態度 | 実習態度<br>実習参加 |
| 3学期 | 調理実習 | ・お菓子づくり<br>・行事食 | a:調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。<br>b:食生活の現状から調理に関する課題を発見し、調理を通して合理的かつ創造的に解決する力を養い、表現している。<br>c:調理の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 | 授業観察<br>実習レポート | 授業観察<br>実習レポート | 授業観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度